

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



令和3年度第1回屋久島研究講座開催!

魚たちのさまざまな暮らしとその不思議
～屋久島町口永良部島におけるこの10年の研究から～
講師：坂井 陽一（広島大学教授）



- 日時：令和3年8月27日（金）19時から20時30分まで
場所：第1会場 屋久島環境文化村センター（宮之浦）
第2会場 オンライン（ZOOM）
定員：各会場100名
申込方法：第1会場はお電話でのお申込み（下記のお問い合わせ先まで）
第2会場は財団ホームページでのお申込み（申込期間 8/1～8/25）
備考：各会場100名を超える場合はキャンセル待ちとなります。
オンラインについては事前に接続テストを予定しています。
詳細はメールにてお知らせいたします。
受講証明書の必要な方はその旨申し込みの際にお申し出ください。
なお、コロナウィルスの感染状況により中止する場合がございます。
お問い合わせ先：村センター事業課 42-2900

のんびりゆったり里のエコツアー ～安房集落編～

集落に伝わる歴史や文化に触れてみませんか？安房集落の見どころを地元の方々がお案内します。

- 日 程：令和3年8月22日（日）
○時 間：9:30～11:30
○集合場所：安房公民館
○募集定員：15名（高校生以上）
○参加費：無料
○申込方法：
郵送・FAX・メールまたは電話により7月31日までに事業課までお申し込みください。
○申込先：村センター 担当：佐々
〒891-4205 屋久島町宮之浦823-1
TEL：0997-42-2900 FAX：0997-49-1018
E-mail：zaidan11@yakushima.or.jp
○備考：詳細は申込後、ご連絡します。



「THE昆虫展&貝殻展」開催中!

村センターでは、屋久島の身近で見られる昆虫や貝殻の展示を行っています。

子供だけでなく、大人も楽しめるような展示になっていますので、この機会にぜひ村センターへお越しください。

- 期 間：8月31日まで（休館日を除く）
○場 所：村センター交流ホール
○入場料：無料
〈昆虫担当：渡邊 貝担当：中村〉





インストラクターだより

インストラクター：渡邊 卓実

私が子供の頃は、よく夜になると親と樹液につく昆虫を採集しに行きました。樹液にはカブトムシやカミキリムシ、ガやハチなど色々な昆虫を見ることができました。その中でも、カブトムシと同じ人気を誇っている昆虫、クワガタムシにとっても興味がありました。

屋久島にもクワガタが暮らしており、島内で多く見られる種類に「コクワガタ」という子供たちも良く捕まえるクワガタがいます。このコクワガタの正式名称は、「ヤクシマコクワガタ」と呼び本土のコクワガタの亜種になっています。本土のものに比べ、体が赤くなり、全体的にほっそりとしているのが特徴です。

「ヤクシマ」の名が付いてますが、種子島と馬毛島に生息するコクワガタも「ヤクシマコクワガタ」と分類されています。理由として、基準となったコクワガタが屋久島で採集されたことがあげられます。種子島以外にも実は、屋久島に暮らす昆虫と同じ種類が他の土地にも分布しています。調べてみると面白い発見があるかもしれません。



写真 ヤクシマコクワガタ (体長4.5cm)

財団活動報告

○神山小学校宿泊研修 (6/23~24)

神山小学校の先生と生徒合わせて17名の方を研修センターに迎え、宿泊研修を実施しました。コロナウイルス感染拡大防止対策として、当初の予定より日程を短くしての実施となりましたが、天候に恵まれ、プログラムどおりの研修を行うことができました。1日目に、植物拓本、7000年の森を使ったウォークラリーや野外炊飯を体験してもらい、2日目には、木工クラフトやヤクスギランドで研修を行いました。屋久島に住んでいても普段なかなかできない体験をできたと生徒や先生方からも喜びの声があがっていました。



屋久島を想う

研修課 岩川 陽祐

私は屋久島で生まれ中学校まで過ごし、高校、専門学校と計5年間を島外で過ごした後、屋久島に帰ってきました。屋久島に帰ってきてから、まず感じたことは、島外で生活しているときには味わうことが出来なかった集落の人々の繋がりと温かさ、それらもたらす集落の居心地の良さです。



屋久島に限らず、昨今の日本は、地方から都市部へ人口が流出し、過疎化が加速する一方です。しかし、人口が少ない地方だからこそ出来る密な人間関係こそが地方の魅力だと個人的に思っています。現在も集落行事に集落の一員として参加させてもらっていますが、今後も積極的に参加し、先人たちが紡いできた伝統と人と人の繋がりを守っていく一助となるよう微力ながら努めていくつもりです。今は新型コロナウイルス感染症により3密を避けようなどと言われていますが、どうか屋久島の集落における密な人間関係は、今後も継続されていくことを願うばかりです。

【7月の休館日】

○村センター 7/5 (月) ・ 7/12 (月) ・ 7/19 (月) ※7月20日から8月末日まで休館日なし。

○研修センター 7/5 (月) ・ 7/12 (月) ・ 7/19 (月) ※7月20日から8月末日まで休館日なし。

